

大船渡市の歩み

西 暦	年 号	事 項
1952	昭和27年 4月	市制を施行 盛町、大船渡町、末崎村、日頃市村、立根村、猪川村、赤崎村 2町5ヵ村が合併 人口31,597人、世帯数5,390戸
	7月	大船渡港が出入国港に指定 市立図書館を設置
	8月	市制施行記念式典をおこなう
	11月	市教育委員会発足
1953	28年 8月	大船渡地区が臨海工業モデル地区として建設省から指定
	11月	「大船渡音頭」「大船渡小唄」の歌詞決まる
1954	29年 4月	上水道工事完成
	5月	中赤崎診療所落成式
	7月	砂防ダム工事始まる（猪川町大野川） 戦後初めて外国船入港（タンカー船、ペルシャ丸2万5千トン）
1955	30年 4月	市立博物館を設置
	7月	水沢、大船渡港線開通（定期バス）
1956	31年 1月	大船渡商工会議所創立
	4月	NHKラジオ大船渡局放送開始
	8月	郷土芸能協会発足
	9月	綾里村、越喜来村、吉浜村の三村を合併し、三陸村を設置
	10月	赤崎、末崎の市役所出張所廃止され臨時相談所を設ける
1957	32年 1月	市文化協会発足
	5月	日頃市町樋口沢ゴトランド紀層、国指定の天然記念物となる
	12月	1万トン岸壁起工式
1958	33年 1月	末崎町碁石岬に灯台竣工
	12月	東海新報創刊号刊行
1959	34年 1月	日頃市町鷹生橋完成 猪川町大橋完成
	5月	大船渡港重要港湾に指定 外国船タンカー第一船イタリア船籍ミナダミコ号入港
	8月	豪雨（雨量191.7ミリ）で床上下浸水家屋、道路決壊などの被害
1960	35年 5月	午前4時ごろ、チリ地震津波により死者行方不明53名、被害総額80億円 罹災世帯1,481世帯、罹災人員7,376人
	11月	市消防署発足
	12月	大船渡町防火と準防火地域に指定
1961	36年 2月	市公衆衛生連合会結成 佐野橋落成
	4月	盛中学校と立根中学校を合併して市立第一中学校新設 市文化財調査委員会発足
	12月	今出山にNHK・岩手放送テレビ中継局起工
1962	37年 2月	大船渡電話局自動式電話開通（県内2番目）
	3月	三陸縦貫鉄道釜石ー盛間、久慈ー宮古間調査線から建設線に昇格
	4月	盛高校、大船渡高校と改称 県立大船渡工業高校発足 市制10周年記念式典
1963	38年 1月	市開発公社発足
	4月	市役所旧盛町役場から旧盛中学校に移転 川口橋開通式
	7月	大船渡ー東京間直通電話開通
	8月	新設の県営1万トン岸壁に初の大型船接岸
	11月	通岡有料道路（8.2キロ）開通式
1964	39年 6月	碁石海岸など国立公園に編入

西 暦	年 号	事 項
1964	昭和39年 9月	湾口防波堤工事に着工 新設の大船渡魚市場開業 NHK総合テレビ、カラー映像放映する
1965	40年 3月 4月 6月 10月 11月	県立大船渡病院新築開業 県立大船渡高校は大船渡農業高校と大船渡高校に分離 博物館の文化財収蔵庫大船渡町赤沢に完成 盛一上野間直通急行「陸中号」運航を開始 塵芥処理場完成（猪川町久名畑） し尿処理場完成（盛町田中島）
1966	41年 3月 4月 6月 11月	市内の7農協合併し、市農業協同組合として発足 三陸縦貫鉄道盛線起工式祝賀会が行われる 市老人福祉センター開所式 天神山公園啄木歌碑除幕式
1967	42年 1月 4月 6月 7月 10月	大船渡測候所開設以来の最低気温氷点下9.7度を記録 三陸村が町制施行、三陸町発足 国道107号白石トンネル完成する 大船渡港開港場指定となる 大船渡湾口防波堤が竣工 大船渡港検疫港に指定 大船渡線全面ディーゼル化
1968	43年 1月 5月 8月	大船渡港木材輸入特定港に指定 十勝沖地震（午前9時49分）大船渡震度5 養殖場など2億7千万円の被害 東北大学三陸地殻変動観測所完成
1969	44年 1月 6月 7月 8月	市交通指導員制度発足 市防犯協会連合会発足 大船渡青年会議所誕生 小通鹿踊など10種目を市指定無形文化財に指定
1970	45年 3月 7月 8月 10月	三陸縦貫鉄道盛一綾里部分開業 日本で初の気象ロケット観測所完成し、気象観測ロケット第1号打ち上げ 市役所市庁舎盛町字宇津野沢15に新築移転 日頃市町に森林愛護少年団誕生
1971	46年 4月 7月 8月	永浜水面貯木場完成 「大船渡市史編集委員会」6人のメンバーで発足 東京大学三陸大気球観測所完成 大船渡港が植物輸入港に指定
1972	47年 5月 7月 10月	市勤労青少年ホーム開館 大船渡法人協会設立 市連合青年会創立20周年記念式
1973	48年 3月 4月 7月 8月 11月	市婦人会館完成 北里大学水産学部開学式 三陸縦貫鉄道綾里一吉浜間開通 大船渡測候所開設以来の猛暑35.2度を記録 45号盛バイパス開通
1974	49年 3月 5月 11月 12月	佐野橋開通 市立図書館に移動図書館「かもしか号」配車 天皇、皇后両陛下初のご巡幸 当市でご一泊 大船渡地区合同庁舎竣工 東京商工リサーチ盛岡支店（信用調査機関）大船渡魚市場倒産と発表
1975	50年 1月 3月	市芸術文化協会結成 市中小企業特別対策室を設置

西 暦	年 号	事 項
1975	昭和50年 5月	市政モニター制度発足
	8月	市民相談室開設
1976	51年 5月	特別養護老人ホーム「富美岡荘」開所
	6月	「新しい大船渡市をつくる市民運動推進協議会」発足
1977	52年 8月	大船渡海洋少年団団結式 勤労者プール落成
1978	53年 3月	市防災無線施設の整備始まる
	6月	宮城県沖地震発生（震度5、マグニチュード7.5）
	10月	市民体育館完成
	11月	第1回産業まつり開催
1979	54年 3月	上水道第三水源地完成
	4月	栽培漁業センター業務開始 赤崎町蛸ノ浦・大船渡間定期客船第3久美愛丸廃航
	11月	新しいゴミ焼却場完成
1980	55年 1月	大船渡野々田地区港湾整備事業開始
	4月	重度身障者療護施設「吉浜荘」落成式
1981	56年 5月	国際津波シンポジウム開催
	7月	新しい博物館、碁石海岸に着工
	9月	盛線が国鉄再建法に基づく赤字地方路線に認定
1982	57年 4月	大船渡市史全五巻六冊が完成 市制30周年記念式典が行われる
	7月	新しい市立博物館が碁石海岸に完成
	10月	市制施行30周年記念主催事業NHKのど自慢開催
	11月	大船渡湾利用基本構想審議会が発足
	12月	野々田地区に5万トン岸壁が着工
1983	58年 1月	県立自然公園五葉山が「21世紀に残したい日本の自然100選」に選定される
	4月	総合福祉センターと保健センターが開館
	6月	市の花・木・鳥、市民憲章を制定
	12月	第1回市サケまつりを開催
1984	59年 4月	日本初の第三セクター「三陸鉄道」が開業、当市の盛駅が南リアス線の起点となる 県立大船渡高校が春の甲子園で準決勝進出（夏の甲子園にも出場） 定数30人から26人に減少した初の市議会議員選挙が行われる
1985	60年 2月	碁石観光開発特別室を設置
	5月	三陸公民館（旧中央公民館）落成
	7月	市民テニスコートと市弓道場が完成 あわび増殖センター竣工
	9月	「交通安全都市」と「非核平和都市」を宣言
	10月	在京大船渡人会が発足
1986	61年 1月	「大船渡ふるさと特産品」を選定
	4月	大船渡市シルバー人材センター発足
	6月	盛川、末崎、大船渡、赤崎、三陸町綾里の五漁協共同体で経営する「サケ・マスふ化放流事業」はじまる
	9月	「福祉都市」を宣言
	10月	第1回市秋刀魚まつり開催
1987	62年 1月	第1回市カキまつり開催
	3月	国鉄と三陸鉄道の恒常的な相互乗り入れが実現
	4月	運輸省航海訓練所所属の練習帆船「日本丸」が入港（市始まって以来の12万人の人数） 長崎漁港の竣工記念式典が行われる
	10月	サンリク共和国建国（11月、銀河連邦建国）
	11月	大船渡港総合開発推進連絡協議会が発足

西 暦	年 号	事 項
1987	昭和62年11月	三陸縦貫自動車道・三陸道路起工式が行われる
1988	63年 4月	県立気仙養護学校開校
	10月	新三陸トンネル貫通 大船渡市声の福祉図書館開館
	11月	主要地方道大船渡綾里三陸線が開通
1989	平成元年 3月	野々田地区に5万トンバース完成 さんりく・リアス・リゾート構想を国が承認
	4月	誘致企業の多加良製作所操業開始
	6月	猪川町前田に鷹生ダム建設事務所開設
	7月	第3セクター三陸町ふるさと振興株式会社創立 三井商船所有の客船「にっぽん丸」が、日本一周クルーズの最終寄港地として野々田ふ頭に入港 海洋科学技術センターの潜水調査船「しんかい6500」と支援母船「よこすか」が当港を基地として総合海上試運転（性能試験）を行う
	8月	岩手吉田工業(株)と当市の間で工場立地協定書に調印、岩手吉田工業(株)の盛川右岸工業団地への進出が決まる
	11月	大船渡市ふるさと創生事業は、湾浄化と人材育成に決定
	12月	大船渡－池袋間を8時間30分で結ぶ高速バス「けせんライナー」運転開始
1990	2年 2月	さんりくリアスリゾートのシンボルマーク、キャッチフレーズ決定 “聴こえます 潮風と大地のハーモニー”
	5月	チリ地震津波30周年防災訓練、追悼式、シンポジウム開催
	9月	南極観測砕氷船「しらせ」入港 一般公開、関連行事に2万8000人の人出
1991	3年 1月	Y・Sセンターの工事着工
	3月	二十世紀を展望した市総合発展計画策定、将来都市像は「みどりとあい創造三陸リアスの拠点都市」 復元された旗艦「サンタ・マリア号」の大船渡港入港が内定
	4月	フレアイランド尾崎岬がオープン
	5月	第三セクター「(株)おさかなセンター」創立
	6月	働く婦人の家が利用開始 はまなす運動公園竣工
	7月	サンタ・マリア号出港式（スペイン）に訪問団出発
	8月	豪華客船「おせあにつくぐれいす号」入港
	9月	立根小学校の新校舎完成 ねりんピック'91全国健康福祉祭いわて大会「三世代交流健康マラソン」 「おおふなとリアスハート駅伝」開催 誘致企業の三笠製造(株)が操業開始
	11月	大船渡共同福祉施設「シーパル大船渡」落成
1992	4年 1月	千石船「けせん丸」竣工
	3月	岩手開発鉄道、最後の旅客列車運行、41年9ヵ月の幕を閉じる
	4月	おさかなセンター三陸オープン 県立福祉の里センター利用開始 鹿の森公園総合案内施設「遊・YOU・亭夏虫」オープン
	5月	大船渡市Y・Sセンター利用開始
	6月	大型定期フェリー「ブルーゼファー」（12,500トン）試験寄港
	7月	市制施行40周年記念スペイン聖イグナチオ少年少女合唱団公演
	8月	大船渡港野々田ふ頭・緑地公園竣工 復元された旗艦「サンタ・マリア号」入港、黄金郷発見祭開催（10万人が入場） スペイン国、バロス・デ・ラ・フロンテラ市と姉妹都市提携
	9月	日本一の豪華客船「飛鳥」（28,717トン）入港 公共下水道工事に着工

西 暦	年 号	事 項
1992	平成4年9月	千石船「けせん丸」、三陸海の博覧会でジャパン・エキスポ大賞を受賞
	10月	市制施行40周年記念式典 プレ国民文化祭「お国言葉交流大会」 県立大船渡病院移転新築工事着手 三陸町営書店「ブックワールド椿」開設
	12月	公共下水道終末処理場「大船渡浄化センター」工事着工
1993	5年3月	三陸縦貫自動車道、大船渡・三陸道路一部供用開始 大船渡駅乗車券類簡易委託販売業務開業式 快速列車「スーパードラゴン」出発式
	4月	養護盲老人ホーム「祥風苑」、身体障害者授産（通所）施設「朋友館」、精神薄弱者授産（通所）施設「慈愛福祉学園」開所 これにより福祉の里の整備が完了 湾内清掃船「さんご丸」操業開始
	5月	住民票等の郵送サービス開始
	6月	サンタ・マリア号寄港、パロス市姉妹都市提携1周年記念行事として、「大船渡スパニッシュウィーク」を開催 海洋センターをB&G財団より無償譲渡（平成2年6月に一般開放）
	8月	水産加工技術を学ぶ中国人研修生62人が来大（一年間滞在）
	9月	全国お国言葉大会直前イベント「ケセンふるさと文化祭」をJAおおふなと会館で開催
	10月	第8回国民文化祭'93「全国お国言葉大会」を市民体育館で開催 討論会やケセン語研究会による発表会が行われる（3,500人が来場） 恒例の市産業まつり・秋刀魚まつりとあわせて、第22回躍進いわての産業まつりが市民体育館で開催
	11月	市国際交流協会の呼びかけにより姉妹都市パロス市を市長ほか親善訪問団一行16人が訪問（市内の視察や交流を行う）
1994	6年2月	大船渡測候所観測史上最大の強風（瞬間最大風速38メートル）により、三陸鉄道南リアス線甫嶺駅付近で列車転落
	4月	三陸鉄道開業10周年を迎える
	6月	明治29年の三陸大津波から100年を記念し、津波シンポジウム「突然襲う津波にあなたはどうする」開催
	8月	日本宇宙少年団岩手国際ジャンボリー'94を陸前高田市を中心に気仙地区で開催（8日～10日には海外からの参加者36人が市内各家庭でホームステイ）
	9月	宮古市・釜石市・大船渡市・陸前高田市・住田町・三陸町・大槌町・田老町・山田町・新里村の4市5町1村が三陸地方拠点都市地域に指定される 第2回ケセンふるさと文化祭開催 けせん語弁論大会やけせん語劇に1,100人が来場
	10月	公共下水道使用開始 平成3年度の事業開始から異例の早さで使用開始を迎える 大船渡町の地ノ森・富沢・新田地域で使用が可能に （同時に大船渡町欠ノ下向に大船渡浄化センター完成 平成6年9月31日） 第33回日本港湾経済学会全国大会開催 日本の都市と港湾の近代化について研究発表 在京大船渡人会10周年記念総会が東京上野池之端文化センターで開催
1995	7年1月	神戸市を中心に死者5,000人を越す「阪神大震災」が発生 市内でも防災の意識が高まる
	2月	岩手県立大船渡病院移転開業
	3月	大船渡市景観形成基本方針を策定
	7月	長崎海岸ウニ・アワビまつりが開催される 諏訪前、中井沢地区区画整理が完了
	9月	JR東日本大船渡線全線開通60周年記念式典が盛駅で行われる
	10月	全国沿岸市町村津波防災サミット開催 福祉の里、介護支援センター開設
1996	8年6月	総合発展計画後期基本計画策定「活力で輝く未来、国際港湾都市 大船渡」と将来都市像を新たに決定 碓氷海岸雷岩が「日本の音風景百選」に、又7月には碓氷海岸が「日本の渚百選」に相次いで選定される

西 暦	年 号	事 項	
1996	平成8年7月	あわび種苗センター竣工	
	8月	大船渡市のイメージソング「三陸・大船渡」完成 海の日制定記念に「大船渡かがり火まつり」開催される	
	9月	岩手県総合防災訓練が大船渡市を会場として開催される	
	10月	デイサービスセンター（A型）開設 ゴミ減量化に向けて指定透明袋、使用開始 森林体験交流センター「夏虫のお湯っこ」オープン	
	11月	女性政策推進の主要事業として「全国男女共同参画宣言都市サミット」が開催される	
	12月	大船渡高校サッカー部、全国大会に出場	
	1997	9年2月	五葉山のふもとから温泉湧出
		4月	高規格救急自動車、救急救命士を乗せ運行開始 三陸町保健福祉センターオープン
		5月	「世界の椿館・基石」オープン
		6月	気象ロケット1,000号打ち上げ
		8月	かがり火まつりと夏まつりを同時開催
		9月	港湾整備事業盛大に着工式
10月		救急救命センター着工	
11月		広域連合を目指して取り組みを開始 大船渡高校、高校サッカー選手権大会でV2 交通安全コンクールV10達成	
12月		大船渡高校サッカー部、2年連続全国大会出場	
1998		10年3月	2市2町の連携で気仙広域連合を設置
		8月	救急救命センター開業
		9月	大船渡港湾整備事業国直轄事業が着工 ごみ共同処理で釜石市と基本協定締結 公文書公開制度スタート、情報公開室開室 交通死亡事故ゼロ2年間達成、県警本部から賞賛状
	10月	鷹生ダム本体工事着工	
	1999	11年3月	三陸縦貫道・大船渡道路約10km供用開始
4月		部制を導入し行政改革を断行 大船渡市民交流館・カメラホール完成	
6月		国立公園の名称を「陸中海岸」から「三陸海岸」に変更することに陸中海岸国立公園 協会総会で決定	
7月		新火葬場「おおふなと斎苑」供用開始	
8月		全国高校総合体育大会「空手道競技」開催 三陸大気球観測所大型気球放球設備竣工	
9月		大船渡港が東北拠点港湾に位置付け	
10月		介護保険の要介護認定申請受付開始	
11月		鷹生ダム転流式実施で本格着工	
12月		太平洋セメント(株)が発電事業計画発表 大船渡魚市場と細浦魚市場が統合	
2000		12年3月	第10回全国椿サミット岩手・大船渡大会開催
		4月	釜石市と広域連携でのごみ処理開始 三陸ふるさと物産センターリニューアルオープン（平成6年4月オープン）
		5月	「しゃくなげの湯っこ 五葉温泉」開業 NHK大型テレビドラマ「菜の花の沖」ロケ地となる
	7月	戸籍事務電算化される 大船渡市観光物産協会設立	
	8月	三陸パーク、道の駅に認定	
	10月	綾里川ダム竣工	

西 暦	年 号	事 項	
2000	平成12年11月	広域行政の第一歩として三陸町との合併推進を発表	
	12月	移動図書館 新「かもしか号」利用開始	
2001	13年 3月	気象観測ロケット打ち上げ終了	
	4月	大船渡・かがり火まつり「第5回ふるさとイベント大賞」部門賞受賞（地域経済振興部門）	
	8月	大洞貝塚 国史跡に指定	
	11月	大船渡市・三陸町合併	
	12月	大船渡港湾整備事業 埋立土投入式	
2002	14年 2月	気象庁大気環境観測所でレーザー観測開始	
	7月	市制施行50周年記念主催事業NHKのど自慢開催	
	5月	宇宙科学研究所三陸大気球観測所で高度53kmの世界記録を達成	
	6月	大船渡駅前交流広場完成	
	9月	岩手県港湾ビジョンで大船渡港が県内最大の国際港と県が発表 合併記念、市制施行50周年記念事業として大船渡・飛鳥クルーズを実施	
	10月	市制施行50周年記念式典開催	
	2003	15年 2月	三陸町本籍の戸籍が電算化
2004	4月	大船渡商工会議所と三陸町商工会が合併	
	5月	三陸南地震(マグニチュード7.1、大船渡で震度6弱)で市内被害額約26億4千万円	
	7月	7月として最高気温の平均20.8度(過去2番目の低さ)、日照時間58.5時間(過去最低)、降水量553.5 ^{mm} (過去最高)で農作物に被害	
	8月	防災管理室と市制施行50周年記念誌編纂室を設置	
	9月	十勝沖地震で津波により、養殖施設に大きな被害(被害額約4,900万円)	
	12月	全国中学校駅伝に吉浜中学校女子チームが出場	
	2004	16年 2月	三陸町の「スネカ」が国の重要無形民俗文化財に指定
	4月	市民文化会館建設推進室を新設	
2005	8月	第43回日本港湾経済学会全国大会開催	
	9月	大船渡湾浄化に向けて負圧利用型「海水交換」実証実験に本格着手	
	10月	新潟県中越地震被災者支援本部を設置し、救援活動を実施	
	12月	「幸せを運ぶ」といわれる国の特別天然記念物コウノトリが大船渡に飛来	
	2005	17年 1月	大船渡港が全国一元気な港として「ポート・オブ・ザ・イヤー2004」（グランプリ賞）を受賞する
	2月	碁石海岸遊歩道が「美しい日本の歩きたくなるみち500選」に認証される	
	3月	三陸縦貫自動車道「大船渡三陸道路」が全線開通	
	5月	鷹生ダム本体工事が完了し、貯水を開始	
	6月	「ジョブカフェいわて・気仙サテライト」を開設	
	7月	「海の日モデル地区2005」に認定される	
2006	9月	外国貿易コンテナ船の定期航路開設に向けて、中国へ冷凍水産物を試験輸出	
	10月	全国スポーツレクリエーション祭（ラージボール卓球大会）開催	
	11月	三陸沖を震源とする地震が発生（最大波高50センチの津波を記録）	
	2006	18年 4月	市公共施設の指定管理者制度がスタート
	7月	客船「飛鳥Ⅱ」（50,142トン）が初入港	
	10月	三陸町の「浦浜念仏剣舞」が県無形民俗文化財に指定される 鷹生ダムが完成	
	12月	「椿の里・大船渡」の統一シンボルマークデザインが決定	
	2007	19年 3月	大船渡港と韓国・釜山港を結ぶ国際貿易コンテナ定期航路が開設
	8月	大船渡市の日中の最高気温が観測史上最高の37.0度を記録	
	9月	三陸大気球観測所が36年の歴史に幕を下ろし閉所	
10月	岩手県市町村高齢者交通安全コンクールで20年連続第1位を達成		
2008	20年 3月	全国高等学校バレーボール選抜優勝大会（春校バレー）で大船渡高校女子バレーボール部がベスト16に進出	

西 暦	年 号	事 項	
2008	平成20年 3月	県立高校再編に伴い大船渡工業高校と大船渡農業高校が閉校	
	4月	大船渡東高校が開校	
	5月	大船渡市農協と陸前高田市農協が合併し新生 J A おおふなどが誕生	
	7月	全国海の祭典「海フェスタいわて」が当市を中心会場に東北で初開催 秋篠宮殿下、同妃殿下ご臨席のもと記念式典が盛大に挙行される	
	11月	地域経済の活性化を図るため大船渡商工会議所の「大船渡地域商品券」事業が始まる 地上デジタルテレビの試験放送が始まる リアスホール（市民文化会館・市立図書館）が誕生	
2009	21年 2月	「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2008」特別賞を全国の自治体で唯一受賞 大船渡港湾整備で国直轄事業の永浜地区岸壁が完成	
	3月	三陸縦貫自動車道の碓石海岸 I C から通岡 I C までの3.4kmが開通 市民文化会館・市立図書館開館記念として「NHKのど自慢」を開催	
	7月	三陸鉄道南リアス線の「小石浜駅」が「恋し浜駅」と改称され、除幕式を開催 海フェスタ1周年記念事業として「海フェスタ感謝祭」、「大船渡海の総合展」など多彩なイベントを開催	
	9月	夏虫のお湯っこで平成8年の開所以来、入浴者100万人を達成 東京タワーで大船渡産さんまを P R する「三陸・大船渡東京タワーさんままつり」を初開催	
2010	22年 2月	チリ沖で発生した大地震津波で養殖施設に大きな被害（被害額4億円超）	
	4月	大船渡魚市場建設推進室と防災センター建設推進室を設置	
	5月	チリ地震津波50周年防災訓練、追悼式を開催（9月には50周年碑設置、11月には50周年誌発行）	
	7月	はとバスが大船渡で初のツアーを開催 新種のバラに「恋し浜」と命名され、贈呈式開催（11月には三陸鉄道の恋し浜駅にしあわせの鐘を設置）	
	8月	大船渡港が国の重点港湾に選定される	
	9月	綾里地区コミュニティ施設が診療所と一体の施設として完成	
	10月	気仙誕生1200年祭開催 客船「飛鳥Ⅱ」が大船渡港初の1泊寄港 リアスホールが入館者40万人を達成（5月には「日本建築大賞2009」を、11月には「第51回建築業協会賞（BCS賞）」を受賞）	
	11月	誘致企業の(株)阿部長商店が操業開始 盛小学校の新校舎完成	
	2011	23年 3月	3月11日14時46分 東日本大震災（日本観測史上最大となるマグニチュード9.0、大船渡で震度6弱の地震と、それに伴う津波）が発生（死亡者340人、行方不明者82人、建物被害5,433世帯、物的被害額約1,077億円〔平成24年3月27日現在判明分〕） 崎浜保育所が休止
		4月	綾里こども園・吉浜こども園が認定こども園の認可を受ける
8月		皇太子ご夫妻が被災地のお見舞いのため、当市をご訪問	
12月		気仙2市1町による「気仙広域環境未来都市」が国の「環境未来都市」に選定	
2012	24年 1月	小惑星探査機はやぶさ帰還カプセル特別展示inおおふなどが開催される	
	3月	甫嶺小学校・崎浜小学校が閉校し、越喜来小学校に統合 甫嶺へき地保育所が休止	